

将来計画検討専門委員会 報告

大内正己 (NAOJ/東大)

メンバー

秋山正幸、井上昭雄、河原創、住貴宏、
左近樹、高田昌広、成田憲保、松田有一、
本原顕太郎→金田 英宏、小山 佑世

メンバーの交代/増員

- 4月 国立天文台 研究連携主幹就任(本原)
- 運営委員会からの推薦
 - 昨秋の推薦投票結果を元に決定
 - 本原氏→金田氏(名古屋大学)、小山氏(国立天文台)
 - 若い人の力も欲しいという委員会の声から増員

活動

2022年

- 3/28: 第6回ミーティング
- 4/26: 第7回ミーティング
- 5/24: 第8回ミーティング
- 6/6: 第9回ミーティング
- 6/29: 第10回ミーティング
- 7/12-13: 光赤天連シンポジウム(戦略的中型ミッション)
- 7/26: 第11回ミーティング
- 8/12: 第12回ミーティング

*** 他、委員会内において、メールによる議論多数

議事録は

http://gopira.jp/siryo/gopira_future/index.html

.

主な議論・活動

SPICA (ISAS戦略的中型衛星)中止を受けての対応

- ISAS戦略的中型衛星の新しい枠組みGDI
 - 今年9月までに時限WGを設置
- 戦略的中型衛星シンポジウム(7月)の開催と準備
 - 世話人: 松田、小山
- GDIメンバーとの意思疎通
 - 9月現在、GDIではGREX-PLUSとFORCEを議論

ロードマップ作成へ向けた議論

光赤天連シンポジウム(7/12-13)

「2030年代にどのような戦略的中型計画を推進するのか」

- 2月の光赤天連シンポジウム「2030年代の戦略的中型をどうするのか」を受けてのシンポジウム
- SPICA中止→光赤天連コミュニティとして2030年代に推進する計画を議論(続き)
 - 2030年代の光学赤外における科学テーマを概観
 - 日本としてどのようなサイエンスを狙うのか
 - 国内外の各種衛星計画の動向を共有
 - ISAS戦略的中型ミッションの新フレームワーク(GDI)現状
 - 将来の戦略的中型ミッションへの道筋
- シンポジウムのまとめ <http://gopira.jp/sym2022/>

今後の予定

光赤天連ロードマップ(地上・衛星)作成 へ向けた取り組み

将来計画検討専門委員会に関する内規

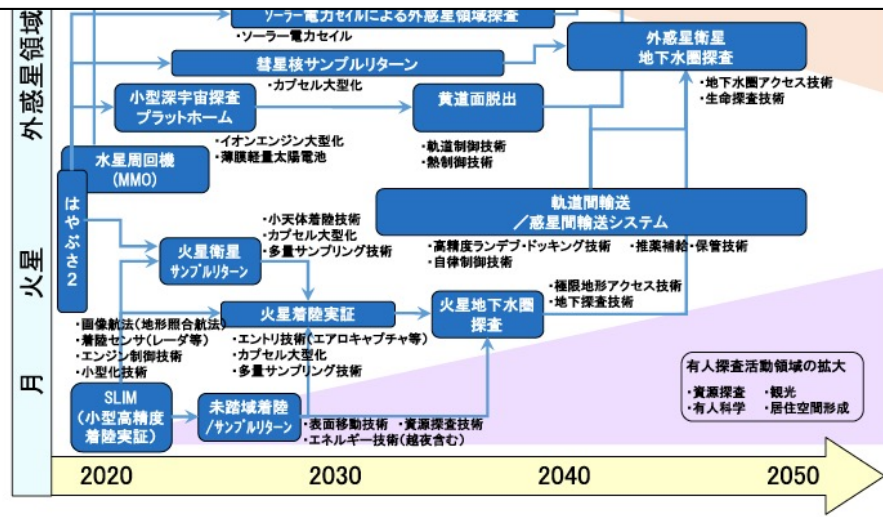
第5条 委員会の業務

光学赤外線天文学や関連分野の将来計画を広く収集しその実現に協力するために、将来計画についてのシンポジウム等を開催し、適宜成果を報告書としてまとめる。光学赤外線天文学に関わる将来計画のロードマップを作成し、更新を行なう。運営委員会からの将来計画に関する諮問に応じる。

ハ
放
整
度化

| 度化 | 設計 | 建設 |
|------------------------------|-------|----|
| K1.8/K1.8BR: ストレンジ核(S=-1→-2) | 準備 | 実験 |
| K1.1: ストレンジ核(S=-1) | 準備 | 実験 |
| HR: 高分解能ストレージ核分光 | | 準備 |
| K10: ストレンジ(S≤-2)・チャームのハドロン核 | | 準備 |
| ストレッチャーリング | 調査・検討 | |
| 重イオン加速器 | 調査・検討 | |

出典: http://kakudan.rcnp.osaka-u.ac.jp/jp/news/2012_KEK-Nucl-Roadmap-Slide.pdf



出典: <https://www.jsass.or.jp/wp-content/uploads/2020/09/e2c8955d9607b55e5e22ad43bfde3cf1.pdf>

2030WGでのWPや議論を踏まえて

ご意見などインプットをぜひ将来計画検討専門委員会委員まで